

岩手県知事 達増 拓也 様

要 望 書

主要地方道久慈岩泉線



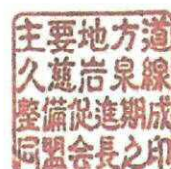
久慈琥珀博物館



令和 7 年 8 月 29 日

主要地方道久慈岩泉線整備促進期成同盟会

会 長 久慈市長 遠 藤 譲 一



「主要地方道久慈岩泉線」の整備促進について

主要地方道久慈岩泉線は、久慈市の市街地を起点とし、岩泉町安家を経由して岩泉町の中心部に通じる路線であります。

当路線は、久慈市と岩泉町を結ぶ最短ルートであり、岩泉町の救急患者を第三次救急医療施設である県立久慈病院に搬送することはもとより、この沿線に点在する龍泉洞や安家洞、新山根温泉、久慈琥珀博物館など多くの観光施設等をはじめとする産業・経済・文化の発展や、地震や大津波など災害時における国道45号の迂回路として、大きな役割を担う重要な路線であります。

このような中、三陸沿岸地域は平成23年3月に発生した東日本大震災に伴う大津波により、これまで築き上げてきた社会生活基盤の多くが一瞬で損壊し甚大な被害を受けたところであります。震災時、当路線は救援ルートとして機能し、復旧・復興にあたっては「復興支援道路」と位置づけられ、岩手県知事をはじめ関係各位のご尽力により、平成24年度の事業着手以降、平成28年度には大月峠（大月峠スノーシェルター出口付近～岩泉町側）の隘路区間が解消されるなど、これまで改良整備が進められてきたことに、感謝申し上げます。

さらに、令和3年12月には三陸沿岸道路が全線開通し、三陸沿岸地域の輸送機能が飛躍的に向上したことから、多数の観光施設が点在する当沿線地域においても、観光ルートの拡大や観光客の増加などさらなる地域活性化が図られるものと捉えております。

しかしながら、当路線の一部区間においては、未改良で幅員が狭いことから、朝夕の交通渋滞はもとより観光バスなど大型車両の通行が制限されるなど、日常の交通に支障をきたしているほか、地域住民の生活や児童生徒の通学時における安全の確保が求められています。

つきましては、安全・安心な交通の確保はもとより、地域間交流と相互の連携強化及び救急搬送体制の確立や産業振興を図るためにも、重点的かつ優先的に整備促進が図られるよう、強く要望いたします。

また、平成28年8月30日に岩手県沿岸北部を通過した台風第10号の影響により甚大な被害が発生したことも踏まえ、地域住民が安全・安心な生活を確保するために、平常時・災害時を問わない安定的かつ安全・円滑な道路網及び輸送の確保や地域交通の根幹をなす国道等の整備促進、既存の道路施設の老朽化対策及び維持管理を推進していく必要があります。

よって、次の事項について特段の措置を講じるよう強く要望いたします。

記

- 1 主要地方道久慈岩泉線の市街地隘路区間を回避するため、久慈市田高地区からルートを変更し、国道281号と市道広美町海岸線のT字交差点へ向けた新設整備を行うこと
- 2 久慈市小久慈地区(市立小久慈小学校近傍)車道及び歩道の拡幅改良整備を行うこと
- 3 大月峠の急カーブ等(大月峠スノーシェルター付近)の改良整備を行うこと(久慈市山根町上戸鎖地区)
- 4 公共事業予算の安定的・持続的な確保を行うこと
- 5 平常時・災害時を問わない安定的な輸送を確保するため、物流拠点である重要港湾「久慈港」や救急医療施設にアクセスする幹線道路及び東日本大震災時に救援ルートとして活用された幹線道路を重要物流道路や代替・補完路として確実に指定し、機能強化や整備の重点支援を図ること
- 6 老朽化により劣化・変状が予測される道路施設について、義務化された管理者による5年毎の定期点検を踏まえた安全対策や通学路の交通安全対策が十分に実施できるよう、道路ネットワーク整備等とは別枠で必要な予算を確保するとともに、地方負担への必要な財政支援について国へ要望すること
- 7 第2期岩手県国土強靱化地域計画に基づく重点施策を推進するための予算を確保するとともに、着実に岩手県の強靱化に向けた事業を実施すること